

## 第1号議案

### 2020年度事業報告

2020年4月1日から2021年3月31日まで

NPO法人 ほっとねっと

#### 1 事業報告

・障がいのある人への理解を推進し、障がいのある人の人権に配慮した街づくりを積極的に行うため、障がいのある人の主体性、選択性を尊重した以下の事業を実施した。

- ① 障がいのある人が充実した地域生活を行えるよう、介護サービス包括型共同生活援助事業・居宅介護事業・移動支援事業・訪問介護事業・介護予防訪問介護事業を実施した。
- ② 介護サービス包括型共同生活援助事業を実施した。
- ③ 障がいのある人にやりがいのある仕事を提供できる場（就労継続支援B型事業）を運営した。
- ④ 特定・一般相談支援事業所にて、地域移行・定着・計画相談の充実を図った。
- ⑤ 一人暮らし等への支援として、自立生活援助事業を実施した。
- ⑥ 障がいのある人が充実した地域生活を行えるよう、共同生活支援事業を実施した。
- ⑦ 障がいのある人自らが事業の主体となり、自らが当たり前前に地域で自立した生活を営むために必要な事業や支援を行っていけるよう、ピア人材バンク事業を実施した。
- ⑧ エンディングサポート事業にて、（松山市宮鷲谷）入墓された方への対応と希望者との契約を進めた。
- ⑨ 障がいのある方が、生き生きと生活していける場として、サロン事業を実施した。
- ⑩ その他
  - ・コロナ禍で、国からの補助金等を活用して、衛生用品や電子機器等整備を行った。その

結果、リモート等を利用した会議の開催等実施できた。しかし、地域交流や家族の集い、ふれあいトーク等は実施できなかった。

- ・ 周囲に配慮ができるとか報連相ができるとはどのようなことなのか、具体的な行動基準を決めてもらうため委員会を設置し、次年度に策定していくようにした。
- ・ 自分で考え相談し、企画のできる人を育てるために、企画会議を設置し職員からの企画や業務改善や商品提案を毎月検討した。
- ・ 生活力推進事業運営委員会、回顧録作成委員会、ほっとレターの発行、職員研修、健康診断、職員との面談、病院実習、職種別の研修等を実施した。
- ・ 各事業にて職員会議、利用者ミーティングの実施、事業全体の運営会議を毎月開催。その他、各種会議、研修会等へ参加した。
- ・ 障がい者雇用が推進できるよう法人事業間で協議できる体制をとって感じた。
- ・ 理事会を奇数月の第三土曜日に4回開催した。
- ・ 冬季賞与時及び年度末に一時金として上乘せ支給を実施した。
- ・ 防犯、防火対策として各事業で必要な訓練等を実施した。防災士2名受講。
- ・ 協力医療機関の更新及び新規契約を行った。
- ・ 松山市のこころの健康フォーラムの開催（北条地区・石井地区）に協力した。
- ・ 実地指導が、すけっと工房と相談支援事業所ほっとねっとであった。
- ・ 理事長表彰者 河井光枝氏
- ・ 精神保健福祉士1名、社会福祉士1名 合格。

## 2 事業の実施に関する事項

定款の 事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者の人数	人数
障害者総合支援法に基づく 障害福祉サービス事業	介護サービス包括型 共同生活援助事業 (グループホーム)	通年	松山市内	29名	障がい者38名
	居宅介護事業	通年	松山市内	15名	障がい者51名
	就労継続支援B型事業(す)	通年	松山市内	10名	障がい者33名
	就労継続支援B型事業(ひ)	通年	松山市内	11名	障がい者30名
	就労継続支援B型事業(口)	通年	松山市内	10名	障がい者36名
	特定・一般相談支援事業	通年	松山市内	7名	障がい者74名
	自立生活援助事業	6月	松山市内	3名	障がい者2名
障害者総合支援法に基づく 地域生活支援事業	移動支援事業	通年	松山市内	6名	障がい者11名
介護保険法等 に基づく介護 サービス事業	訪問介護事業・ 介護予防訪問介護事業	通年	松山市内	15名	障がい者9名
その他事業	共同生活支援事業	通年	松山市内	5名	障がい者9名
	ピア人材バンク事業	通年	松山市内	5名	障がい者・市民
	エンディングサポート事業	通年	松山市内	6名	ほっとねっと利用 者・家族
	サロン事業	通年	松山市内	4名	障がい者・市民

## 第3号議案

### 2021年度事業計画（案）

2021年4月1日から2022年3月31日まで

NPO法人 ほっとねっと

#### 1 事業実施の方針

- ・障がいのある人への理解を推進し、障がいのある人の人権に配慮した街づくりを積極的に行うため、精神障がいのある人の主体性、選択性を尊重した以下の事業を実施します。
- ・介護サービス包括型共同生活援助事業・居宅介護事業・移動支援事業・訪問介護事業・介護予防訪問介護事業・日常生活支援総合事業を実施します。
- ・介護サービス包括型共同生活援助事業では、久米地区と北条地区を一体として対応し、高齢化や重度化に対応できる施設等の建設を進めていきます。
- ・障がいのある人にやりがいのある仕事を提供できる場（就労継続支援B型事業）を運営し、地域住民との交流を図ります。
- ・特定・一般相談支援事業にて、障がいのある方の地域生活支援の充実を図ります。
- ・一人暮らし等への移行を希望する方への支援として、自立生活援助事業を実施します。
- ・障がいのある人が充実した地域生活を行えるよう、共同生活支援事業を実施します。
- ・障がいのある人自らが事業の主体となり、自らが当たり前前に地域で自立した生活を営むために必要な事業や支援を行っていきけるよう、ピア人材バンク事業を実施します。
- ・エンディングサポート事業について、利用者や希望者に対して契約等を行います。
- ・松山市から委託事業として、サロン事業を実施し、生活の豊かさを求めています。
- ・家族の集いは、本年度中止とします。
- ・生活力推進事業運営委員会、ほっとレターの発行、職員研修・研修の冊子作成、健康診断、職員との面談、職種別の研修等を実施します。ふれあいトークは、中止とします。
- ・利用者の思いを綴った回顧録の作成を今年度も継続して行っています。

- ・各事業にて職員会議、利用者ミーティングの実施、事業全体の運営会議を毎月開催。その他、各種会議、研修会等へ参加します。
- ・理事会を奇数月の第三土曜日に開催予定。
- ・松山市実地指導予定 ネットハウス「くろーばー」・ひだま里・口笛・ほっとパートナー・自立

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者の人数	対象者
障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業	介護サービス包括型共同生活援助事業(グループホーム)	通年	松山市内	30名	障がい者
	居宅介護事業	通年	松山市内	15名	障がい者
	就労継続支援B型事業(す)	通年	松山市内	10名	障がい者
	就労継続支援B型事業(ひ)	通年	松山市内	11名	障がい者
	就労継続支援B型事業(口)	通年	松山市内	10名	障がい者
	特定・一般相談支援事業	通年	松山市内	7名	障がい者
	自立生活援助事業	通年	松山市内	3名	障がい者
障害者総合支援法に基づく地域生活支援事業	移動支援事業	通年	松山市内	4名	障がい者
介護保険法等に基づく介護サービス事業	訪問介護事業・ 介護予防訪問介護事業・ 日常生活支援総合事業	通年	松山市内	15名	障がい者
その他	共同生活支援事業	通年	松山市内	5名	障がい者
	ピア人材バンク事業	通年	松山市内	6名	障がい者・市民
	エンディングサポート事業	通年	松山市内	6名	障がい者等
	サロン事業	通年	松山市内	6名	障がい者・市民

## ほっとねっと 2021年度の目標

1. 障がいのある人が、あたり前に生活していくことを支援しよう。
2. 周囲に配慮のできる人を育てよう。
3. 報連相ができる人を育てよう。
4. 自分で考え相談し、企画のできる人を育てよう。

### ◎ グループホーム（介護サービス包括型共同生活援助事業）

#### ねっとハウス「くろーばー」目標

1. 精神障がいのある方の地域移行に貢献をできるようにする。
2. 報連相ができるようになる。

#### 2020年度の課題

1. 予定の立て方が遅い、逆算すること、相談しながら進めていくことが不十分。GHの新設やサテライトに関しても同様。
2. 申し送りや外部とのやり取りの中で報連相が出来ていないことが多い。なにを誰に伝えないといけないのかの認識が薄い。
3. 業務の理解に差がある。
4. 金銭の預かりや収支、加算の要件や必要な資格などを学び、行っている支援に根拠が説明できない。

#### 2021年度の実施計画

- 1-①秋までに1名の地域移行対象者の方に退院をして頂けるようにする。
- 1-②久米窪田に新設するGHの準備をすすめる。
- 2・3-①業務のマニュアルを作成や修正をし、誰にでもわかるようにする。
- 2・3-②関係機関との連絡を行う。
- 4-①給付費のことを学び、加算の要件や必要な資格などを取得していくことができる。
- 4-②世話人会計や利用料の請求、年度末の返金が遅れないようにする。

## ◎ 就労継続支援B型事業

### すけっと工房目標

1. 自主製品を軌道にのせ授産科目として成立させる。
2. プログラムをきちんと形にする。(茶話会・SSTも実施)
3. 利用者の方が望むべき目標を立て、支援する。

### 2020年度の課題

1. 自主製品を完成させることができなかった。無理な段取りを組んでしまったこと、担当以外の職員も一緒に考える余裕がなかった事、うまくいかなかったときに原因を明確にしておらず、また修正をかけないまま進めてしまったこと。
2. リモート見学用の動画作成やそれを使える機会を検討する必要がある。
3. 事例検討が定期的に行うことができていなかった。また申し送りが結果だけになり、その次にどのように動くのかがなかった。またレク等2ヶ月前の計画を作成することや実施後の報告もできておらず、職員もバラバラになっていた。

### 2021年度の実施計画

- 1-①自主製品を完成させる。
- 1-②移動喫茶で自主製品を使う。
- 1-③県庁マルシェで販売する。
- 2-①茶話会を4月から2回/月実施。
- 2-②SSTを6月から実施。
- 3-毎月事例検討を職員ミーティングの際に実施する。

### ひだま里目標

1. 利用者の自信や やりがいとなる授産活動にする。
2. 利用者のニーズを追い続ける。
3. 業務の効率化を図る。

4. みんなで一緒に考える。

### 2020年度の課題

1. メンバー主体の授産活動を再構築する。
2. メンバーと関わる時間が少ない。
3. 新規の利用が少ない。

### 2021年度の実施計画

- 1-①調理の流れを確認する機会を作り、繰り返し作業をする中で調理の流れが分かっていくように支援する。
- 1-②炒め物や揚げ物など、メンバーが調理を行えるように支援する。
- 2-①夕送迎に常勤が出なくて良いようにする。その為に勤務調整、あるいは送迎で募集。または送迎タクシーの契約。
- 2-②業務の効率化を図る。
- 3-リモート見学から体験利用へとつなげる。

### 口笛目標

1. 利用者のやりたいことを実現し、楽しみを増やせる。
2. 地域貢献につながり、利用者に還元できるような授産活動をする。

### 2020年度の課題

1. 作業時間や利用時間の制限により工賃の減少。決まっている人数の中で随時見直しや調整し作業の入り方を工夫する。
2. 今までと比べて利用者が少ない作業や時間帯がある。新しい作業への取り組みを支援する。
3. 工賃向上計画を作成し、各作業の課題や対策を考えて提案しているが、それに基づいた支援や活動になっているか振り返りを定期的に行う。

### 2021年度の実施計画

- 1-日々のコミュニケーションの中で、ささいな事でも聞き逃さず、やりたいことを形にできるよう具体的に提案し実現する。

2-①低たんぱく米粉食パンの商品化、販売を進める。

2-②授産活動や収支状況をスタッフミーティング、各作業ミーティングで振り返り、意見を出し合う。

3-課題に対しての取り組みを明確にし、意見や計画の出しっぱなしで終わらないようにする。

## ◎ 居宅介護・訪問介護・介護予防・移動支援・日常生活支援総合関係

### ヘルパーステーションほっとパートナー目標

1. 支援先の作業内容把握。
2. 自立に向けた支援ができるよう声掛けを行う。
3. 必要性を見出し、関係機関と連携を図る。

### 2020年度の課題

1. 各利用者の計画に沿った支援が提供できているか登録冊からの情報の収集が大切。
2. 少しでも一緒に作業ができるよう声かけが十分できていない。
3. 利用者の生活が向上できるよう関係機関に改善点を伝えきれていない。

### 2021年度の実施計画

- 1-①担当冊との情報の共有を密にしていく。
- 1-②気になる支援先は連絡確認を行う。
- 2-①一緒に作業ができるよう、担当冊に声掛けを促す。
- 2-②難しい場合は関係機関と相談する。
- 3-状況や状態の変化にそった支援内容の提供を関係機関にできる。

## ◎ 相談支援事業（自立生活援助事業を含む）

### 相談支援事業所ほっとねっと目標

1. 利用者の方々の思いや希望が表現できて、サービス等利用計画に反映し、実現する。
2. スタッフ間の適時の情報共有に努める。

## 2020年度の課題

1. コロナ禍で地域移行対象者と面会等ができないことが多く、進むことができなかった。その状況下でも1年未満の対象者がいれば、新規ケースとして上げていき対応していきたい。
2. 個別ケースに関しては、関りが漠然としていて曖昧となっていたり、何で計画を立てているのか明確でないことが多かった。
3. 相談支援専門員として資格はとれたが退職してしまったので、法人として個人の意思確認をして対応していきたい。

## 2021年度の実施計画

- 1-①必要な時に適時介入連絡調整等できる。  
②関りの意図が、説明できる。
- 2-地域移行のケースを退院してもらう。2ケースは最低。
- 3-相談支援専門員の資格を1名取得する。

## ◎ 共同生活支援事業

### ひまわり・大目標

1. 関係機関との連携を強化する。
2. 課題を共有し、連携を取りながら統一したサービスを提供する。

## 2020年度の課題

1. 連絡会、食事会は開催できなかった。
2. 入居者の状況に応じて、環境整備が十分でなかった。
3. 季節を感じられる夕食が提供が十分でなかった。

## 2021年度の実施計画

- 1-連絡会の開催方法、内容について、内部や関係機関と早めに相談する。
- 2-LWのグループでひまわりと大の都度確認や課題について連携することを継続。
- 3-季節を感じられる食事を提供する。

## ◎ 生活力推進事業運営委員会

- ・委員会を年4回（6．8．10．2月）開催する。
- ・利用者から各事業に対し、要望を出してもらい運営会議等で話し合い改善していく。

## ◎ 家族の集い

- ・コロナのため、今年度は中止とし、ほっとレターや電話等にて日々の状況を伝えていきます。

## ◎ ピア人材バンク事業

- ・ふれあいトーク事業は、コロナ禍の中での開催が困難と判断し、中止とします。
- ・ピアサポーター、講師派遣事業を推進します。

ほっとねっとピアサポーター37名。松山市ピアサポーター登録者16名。生きる応援相談電話相談員5名

- ・年5回地区別の意見交換会と1回の全体会を開催します。・県外視察に行き、11月に報告会を行います。

## ◎ エンディングサポート事業

- ・すけっと工房が月1回の清掃を継続。各事務所でエンディングの聞き取りや契約をすすめ、委員会開催時に進捗を確認していく。
- ・委員会を年3回（6．10．2月）開催し、支援の在り方について検討します。
- ・8月お盆法要、3月お彼岸法要を行う。

## ◎ サロン事業

- ・松山市からの委託事業として、小坂地区と中島地区と北条地区にて開催する。

かめかめサロン

- ・小坂地区・北条地区で新型コロナウイルス対策をしながら、参加されているメンバーさんとも相談し、活動を行っていきます。

## なみなみサロン

- ・毎月の定例サロン、口笛との合同サロンを開催します。
- ・口笛から参加する合同サロンでは、話が弾みやすくなるように事前にトークテーマを設けて実施します。
- ・バザーや催しが中止になる場合は、口笛からのサロン参加回数を増やし、交流の機会を作ります。

## ◎ その他

- ・回顧録作成委員会を開催し、利用者の思いを綴った書物を作成していきます。
- ・ほっとねっと職員研修を4回（4・8・10・1月）開催する。今年も、職種別の研修を精神保健福祉士、介護福祉士・看護師で実施する。資格取得者を増やしていく。
- ・各事業にて職員会議、利用者ミーティングの実施、事業全体の運営会議を毎月開催し、その他各種会議、研修会等へも参加する。
- ・防災士の受講。

## (2) 法人関係

- ・理事会を奇数月の第三土曜日に開催する。
- ・働きやすい環境づくりのために、職員に対して年2回、個別面談を実施する。
- ・管理職適性試験の実施。
- ・処遇改善に伴う通知を職員に伝達する。
- ・ほっとレターを年3回発行する。
- ・健康診断を年1回実施する。
- ・愛媛県精神保健福祉協会会長表彰の推薦及び理事長表彰。
- ・関係機関との会議等に法人として必要に応じ参加する。